

【O-11】

日本近海におけるフェオダリア類 *Aulographis japonica* (Aulacanthida; Aulacanthidae) の分布と生態

○仲村 康秀¹・宗宮 麗²・今井 一郎¹・辻 彰洋³・ファブリス=ノット⁴・鈴木 紀毅⁵

¹北海道大学 水産科学院；²長崎大学 水産・環境科学総合研究科；³国立科学博物館 植物研究部；⁴CNRS ロスコフ生物研究所；⁵東北大学大学院 理学研究科

Distribution and ecology of *Aulographis japonica* (Phaeodaria; Aulacanthida; Aulacanthidae) around Japan

○Nakamura, Yasuhide¹・Somiya, Rei², Imai, Ichiro¹・Tuji, Akihiro³・Not, Fabrice⁴・Suzuki, Noritoshi⁵

¹Graduate School of Fisheries Sciences, Hokkaido University; ²Graduate School of Fisheries Science and Environmental Studies, Nagasaki University; ³Department of Botany, National Museum of Nature and Science; ⁴Station Biologique de Roscoff, Centre National de la Recherche Scientifique (CNRS); ⁵Graduate School of Science, Tohoku University

フェオダリア類は、海洋の深海に広く分布している従属栄養性の単細胞動物プランクトンである。局所的に高いバイオマスを示す事が知られているため、物質循環の観点からも近年注目を集めている。著者らのグループは、フェオダリア類の多様性・分布様式を明らかにするために2011年から調査を行い、フェオダリア類の *Aulographis japonica* を新種として記載し (Nakamura et al., 2013), この1種のみが日本海の深海において優占している事を明らかにした。本発表では、本種の分布範囲、深海におけるバイオマスの季節変動および生活環について報告する。

日本近海における調査の結果、*A. japonica* の分布は日本海に限定されている事が示唆された。また、*A. japonica* の生活環の一部が解明され、本種が日本海の深海で一年を通じて再生産を行い、季節に関わらず一定のバイオマスを維持している事が明らかとなった。